

高等学校

絵による自己紹介

○目標となる資質・能力

思いや考えの表現力、仲間づくり・絆づくりに資する力、思いやり・他者理解

○指導のねらい

自分を率直に語り、他人の話を聞くという体験を通して、自分の思いを表現する力を育みながら、仲間づくりを行う

○準備するもの

B6程度の画用紙×生徒数、クレヨン×（2人に1セットほど）

○教育課程、実施時期

特別活動、クラス開き直後

○留意点など

参加しようとしめない生徒には強制せず、できる範囲で行わせること

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の目標を知り、学習の見通しを持つ 絵で自分を紹介しよう	・和やかな雰囲気をつくる。リラクゼーションを取り入れてもよい
展開 35分	2 自分を紹介する絵をイメージする 3 自分を紹介する絵を描く 4 ペア（2人組）でお互いの絵を説明し合う 5 グループ内で、ペアの相手の絵を説明し合う 6 グループ内で、お互いの絵の裏にコメントと名前を書き合う	・目を閉じてイメージさせるとよい ・自由に描かせる ・描けない生徒には例を挙げるなどの支援を行う ・クラスの実情によってペアの組み方は工夫をする ・グループは6～8人で、クラスの実情によって組み方は工夫をする ・ネガティブな内容にならないように十分留意する
まとめ 10分	7 本時の学習を振り返り、感想を書く	・本時の感想をグループ内で発表させてもよい

参考

○「リラクセーションを取り入れてもよい」について

クラス開き直後の緊張感をほぐし、お互いに交わり合おうとする動機を高める授業であるので、できる限り和やかでリラックスした雰囲気をつくるように工夫する。「イメージ呼吸法」や「肩のリラクセーション」（実施方法は中学校用授業プラン「ストレスマネジメント」を参照）などを実施してもよい。

○「自分を紹介する絵をイメージする」について

自由な発想でイメージさせる。全員にしばらく目を閉じさせて、静かな環境でイメージさせるとよいが、目を閉じることに抵抗のある生徒に強制はしない。内容については、サッカーが得意ならばサッカーボール等の道具や、将来の自分の姿、具体物ではなく漠然とした自分のイメージなど、自由な表現を奨励する。

○「自分を紹介する絵を描く」について

絵の上手さは関係ないことを伝え、白い画用紙に自分の思いをたくさん込められるように促す。イメージがなかなか湧いてこない生徒には、上記の例を個別に説明するなど支援を行う。それでも難しいようなら、例えば名字が山田という生徒なら、山と田んぼの絵でも構わないし、生まれ月の星座の絵などでもよいとアドバイスをする。ただし、描くことの抵抗が大きい生徒に強制はしないこと。

○「ペア（2人組）でお互いの絵を説明し合う」について

ペアでお互いに絵を説明し合う。1人1～3分程度で時間を設定し、教師の合図で交代させるようにする。ペアのつくり方は、全員で教室を移動しながらできるだけ自分が知らない人を探してペアを組ませるとよいが、クラスの雰囲気や状況に応じて、機械的に隣同士で組ませる、男女別に組ませるなどの適切な方法を選択する。

○「グループのメンバー同士で、ペアの相手の絵を説明し合う」について

ペアを3～4組合体させ、6～8名のグループをつくる。グループ内でペアの相手の絵の説明をし合う。その際、ペアの相手の説明が終わるごとに大きな拍手をさせるようにする。1分間で説明させ、次の1分間で本人から補足説明をさせ、次の1分間でメンバーから質問やコメントをさせるようにするとよい。グループのつくり方は、近くのペア同士を合体させるとよいが、隣同士で組ませている場合は生活班で行わせてもよい。

○「グループのメンバー内で、お互いの絵の裏にコメントと名前を書き合う」について

グループ内で絵を交換し合い、絵の裏にその生徒への短いコメントと自分の名前を書かせる。「今度一緒にサッカーしよう」等、自己紹介の内容に関するコメントが望ましいが、「絵が上手だね」や「これからよろしくね」など、ポジティブな内容であればよい。

資料

参考文献 「心の教育授業実践研究第3号」